

# 2014年度 学習支援・教育開発センター活動報告

## 部会活動

### ・FD支援部会

第1回：5月21日開催

（審議事項）2014年度事業計画

第2回：7月9日開催

（審議事項）2015年度新任教員研修会実施要領の件

（懇談事項）2014年度「学生による授業評価アンケート」の実施

第3回：10月27日開催

（審議事項）「同志社大学学習支援・教育開発センター年報」投稿規定の改正

2015年度教育方法・教材開発募集

（懇談事項）授業評価アンケート（学生に対するフィードバック方法等）の実施

第4回：12月22日開催

（審議事項）2015年度「大学入学準備講座」実施要領

2014年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」実施要領

2015年度教育方法・教材開発費申請

第5回：1月20日開催

（審議事項）2015年度教育方法・教材開発費申請

第6回：2月17日開催

（審議事項）2015年度「学生による授業評価アンケート」

（懇談事項）シラバスの記載事項の確認の徹底

今年度部会の総括

## <活動報告>

2014年度のFD支援部会の事業計画には、①アンケート調査の実施と調査結果の利用促進、調査方法の検討、②「大学入学準備講座」の企画、③FDに関する意識高揚

活動の実施、④FD講演会・ワークショップの開催、⑤その他（検討を必要とする各種課題）の5項目を挙げた。

①アンケート調査の実施と調査結果の利用促進、調査方法の検討については、学生に対して有効なフィードバックを実施するためにも、まず学生へのアンケート実施の周知や広報の仕方について検討を行った。学生への新たな案内周知チャンネルの検討の結果、同志社学生新聞局所管の「同志社学生新聞」や同志社大学公式Facebookへの掲載を新たに実施した。

また、授業評価アンケート等における学生からの授業への要望や声を授業にどのようにフィードバックしていくのかについて、学習効果が期待できる授業の手法や技法のアイデアを情報共有し、意見交換する場として『授業デザイン研究会』を開催した。研究会の様子は、本学教職員専用のHPに動画をアップしている。

②「大学入学準備講座」の企画については、受講者数も例年並みで推移し、恒常的な行事として安定した運営ができており、来年度も継続して実施する予定である。また、講座については全て収録し、ストーリーミングシステムで動画配信している。

③FDに関する意識高揚活動の実施について、高等教育界やFD活動の最新動向で注目すべき事項について、メーリングリストや学習支援・教育開発センターHP等で情報提供を行った。また、「同志社大学学習支援・教育開発センター年報」の投稿規定の改正を行い、高等教育およびその関連領域に関する実践報告、活動報告等に加え、高等教育に関する学術的および実践的研究を促進することを目的に、研究論文と文献紹介を投稿対象として新たに加え、本学教職員、嘱託教員、大学院生を対象として広く原稿を募った。

④FD講演会・ワークショップの開催では、IRのミッションや組織上の位置づけ、データ収集や分析の方法等についての情報提供及び、ナンバリング制度の導入に向けた作業説明会とコンサルテーションを開催し、全学部・学科にまたがる横断的共通課題については、学習支援・教育開発センターでチューニングを行い、フィードバックも行った。

#### ・大学院教育検討部会

第1回：5月28日開催

（審議事項）2014年度事業計画

大学院生の「キャリアビジョンに関するアンケート調査」

第2回：7月16日開催

（懇談事項）「学生による授業評価アンケート」および「学生・修了生による大学

## 院教育評価アンケート」の実施状況

## 修士論文審査基準の検討

## 第3回：10月30日開催

(懇談事項) キャリア形成支援のための大学院共通基礎科目の検討

## 修士論文審査基準の検討

## 第4回：12月9日開催

(審議事項) 2015年度TA研修会の実施

(懇談事項) 大学院生の「キャリアビジョンに関するアンケート調査」集計結果  
公表

キャリア形成支援のための大学院共通基礎科目の検討

## 修士論文審査基準の検討

## 第5回：2月18日開催

(懇談事項) キャリア形成支援のための大学院共通基礎科目の検討

## 今年度の部会の総括

## &lt;活動報告&gt;

2014年度の大学院教育検討部会では、①大学院生のキャリア形成支援方策の検討、②TA研修制度の検討、③大学院教育充実のための情報提供と意見交換、④修士論文審査基準の検討の4点を事業計画として挙げた。

①大学院生のキャリア形成支援方策の検討については、本学の大学院生のキャリア支援に関する意識とニーズを把握するため、「キャリアビジョンに関するアンケート調査」を実施した。回答者は約600名、回収率は約25%であった。アンケートの結果、将来のキャリア形成に役立つ大学院共通科目の開講を希望する回答者が半数を超えており、また、大学院の授業科目を通して身につけたい力として、約6割から7割の回答者が、文献や資料を読んで要点を理解する力、課題を解決する力、ものごとの問題点を発見する力、プレゼンテーションの力、科学的・数量的にもものごとを見る力、柔軟に思考する力、研究をマネジメントする力を挙げていた。こうした本学の大学院生のニーズを踏まえ、本部会では、全学の大学院共通科目の設置により、大学院の基礎教育の充実を図ることを検討課題として懇談を行った。その結果、当面の運用として、アカデミック・ライティングや研究方法論、英語スキルやインターンシップなどのキャリア形成支援科目を特定の研究科で開講し、他研究科の大学院生にも受講可能とする他研究科履修方式を試行して単位互換性を図ること、試行の結果を踏まえ、次年度以

降、全学共通教養教育センターの大学院版のようなプラットフォームの可能性をFDの観点からさらに検討していくこととした。

②TA研修制度の検討については、前年度の実績を踏まえ2015年度のTA研修会実施要領を決定し、LA研修プログラムとの連携を図ることとした。2014年度では研修会に新任のTAを中心に400名強の参加があった。講師としてTA経験のある若手教員にも助言役をお願いし好評であった。

③大学院教育充実のための情報提供と意見交換では、各研究科における取組の紹介や、文部科学省の施策、他大学の動向等の情報提供と意見交換を行った。また、同志社大学が受審した機関別認証評価の結果を踏まえ、大学院教育の改善事項について意見交換を行った。その結果、④修士論文審査基準の検討について、各研究科で基準策定を検討していただき、全研究科で明文化を実現することとなった。

#### ・学習支援検討部会

第1回：5月27日開催

（審議事項）2014年度事業計画

第2回：7月23日開催

（懇談事項）良心館ラーニング・コモنزの利用に関するアンケート調査

第3回：10月7日開催

（審議事項）良心館ラーニング・コモنزの利用に関するアンケート調査

第4回：12月16日開催

（懇談事項）学習支援プログラムの企画・開発と評価方法

学部教員（初年次教育担当者等）との連携協同モデルの検討

良心館ラーニング・コモنزの広報活動の強化

京田辺校地ラーニング・コモنزの運営方針の検討

第5回：3月2日開催

（審議事項）良心館ラーニング・コモنز利用要領一部改正

（懇談事項）学習支援プログラムの企画・開発と評価方法

学部教員（初年次教育担当者等）との連携協同モデルの検討

良心館ラーニング・コモنزの広報活動の強化

京田辺校地ラーニング・コモنزの運営方針の検討

## ＜活動報告＞

2014年度の学習支援検討部会では、①学習支援プログラムの企画・開発と評価方法の検討、②学部教員（初年次教育担当者等）との連携協同モデルの検討、③良心館ラーニング・コモنزの広報活動の強化、④京田辺校地ラーニング・コモنزの運営方針の検討の4点を事業計画として掲げた。

①学習支援プログラムの企画・開発と評価方法の検討について、まず企画・開発面では、2013年度に実施した学習支援プログラムを再度精査すること、また図書館の企画するプログラム、ITサポートオフィスが企画するプログラム等と連携しながら、内容重複の調整や企画段階の相互支援を行い、学内における学部間横断学習支援プログラムとして整合性を持った体系にしていくことを検討した。

②学部教員（初年次教育担当者等）との連携協同モデルの検討は、すでに学生に対してシラバスで「授業外学習」としてラーニング・コモنزでの講習会への参加を指示される例も見られ、正課の講義内でのラーニング・コモنز案内ツアーや出張アカデミックスキルセミナーを実施しているケースも増えてきている。春学期は主に今出川校地にある学部に対して、秋学期は京田辺校地にある学部を中心に学部個別訪問を行った。各学部からの意見を踏まえ、実際に対応が可能なものについては、学部教員と連携協同する具体的なモデルの構築・提案を検討する。

③良心館ラーニング・コモنزの広報活動の強化について、良心館ラーニング・コモنزのHP内に、予約エリアの空席参照画面をリアルタイムに表示するページを立ち上げ、PCやスマートデバイスからの閲覧を可能とした。

④京田辺校地ラーニング・コモنزの運営方針の検討は、大学の方針として（1）京田辺校地のラーニング・コモنزをラーネット記念図書館の1階に設置する、（2）図書館とラーニング・コモنزの両者がうまく機能を分担し、協同できる形で施設全体のプランを策定する、ことが確認されている。各部会委員からも、良心館ラーニング・コモنزの感想や京田辺校地ラーニング・コモنزの早期設置への期待を伺うことができた。そこで出ていた機能のニーズ（交流やディスカッションの場、リメディアル教育に利用する場、発表・会話を重視した実践的な語学練習ができる空間設定等）は、基礎案に反映されるよう働きかける。

## 研修会の開催

### ・2014年度新任教員研修会

日 時：4月2日（水） 13：00～16：25

場 所：今出川校地 寧静館5階会議室

プログラム：

開会挨拶 村田 晃嗣 学長

本学におけるガバナンス、意思決定の仕組み（講師）真山 達志 副学長

本学におけるグローバル化の取組 （講師）山田 史郎 国際連携推進機構長

本学における教育活動 （講師）真山 達志 教育支援機構長

本学における学生支援体制 （講師）尾嶋 史章 学生支援機構長

本学における研究活動 （講師）渡辺 好章 研究開発推進機構長

本学における入学試験業務 （講師）青木 真美 入学センター所長

本学における教育・研究倫理 （講師）田中 達也 倫理審査室長

（司会 山田 礼子 学習支援・教育開発センター所長）

### ・2014年度TA研修会

日 時：

第1回 4月4日（金）18：30～19：20

（主会場）京田辺校地 恵道館201番教室

（配信会場）今出川校地 良心館2階ラーニング・コモンズ

第2回 4月7日（月）18：30～19：20

（主会場）今出川校地 良心館2階ラーニング・コモンズ

（配信会場）京田辺校地 恵道館201番教室

第3回 4月8日（火）18：30～19：20

（主会場）今出川校地 良心館2階ラーニング・コモンズ

（配信会場）京田辺校地 恵道館201番教室

内 容：

- ・TA制度の目的・役割、業務範囲、TAの心得、キャンパス・ハラスメントの防止等について
- ・TA経験のある若手教員の体験談
- ・TAの事務手続きについて



- 講師：山田 礼子 学習支援・教育開発センター所長／社会学部教授  
 武蔵 勝宏 2014年度学習支援・教育開発センター副所長／政策学部教授  
 百合野 正博 2014年度学習支援・教育開発センター学習支援検討部会長／  
 商学部教授  
 山内 雄気 商学部助教  
 岡田 彩 政策学部助教  
 木下 健 高等教育研究機構（政策学部）助手

## 講演会・ワークショップの開催 ※肩書きは講演会開催当時

### ・ナンバリング作業説明会

日時：8月7日（木） 10：00～12：00

場所：今出川校地 良心館3階情報教室RY309

内容：・ナンバリング制度の基本的な考え方の確認、作業の留意点、作業過程で  
 予測される疑問点等の説明  
 ・具体的な分類等の作業体験  
 ・質疑応答

講師：田中 正弘 氏（弘前大学21世紀教育センター高等教育研究開発室長）

### ・ナンバリング相談会

日程：10月23日（木） 14：00～18：00

10月24日（金） 10：00～17：00

場所：今出川校地 光塩館地下会議室

京田辺校地 情報メディア館101教室（10月23日）、102教室（10月24日）

内容：各学部のナンバリング作業過程で生じた疑問や課題、作業完了に向けた調  
 整事項の確認

講師：田中 正弘 氏（弘前大学21世紀教育センター高等教育研究開発室長）

### ・授業デザイン研究会

日程：12月12日（金） 18：20～20：00

場所：（主会場）今出川校地 寧静館5階会議室

（配信会場）京田辺校地 ラウンジ棟207会議室

内 容：・グループワークや協同学習、大人数教室における対話型、e-learning (LMS)の活用をキーワードにした授業手法やアイデアの紹介  
・授業を運営する上での悩みなどの情報共有、意見交換

講 師：大森 崇 文化情報学部准教授  
宿久 洋 文化情報学部教授  
中野 民夫 政策学部教授

・2014年度学習支援・教育開発センター FD講演会

日 程：3月16日（月） 14：00～16：00

場 所：（主 会 場）今出川校地 至誠館3階会議室  
（配信会場）京田辺校地 ラウンジ棟207会議室

テーマ：エビデンスに基づく教学改革 ―立教大学の取り組み―

講 師：原田 久 氏（立教大学副学長、大学教育開発・支援センター長）  
今田 晶子 氏（立教大学大学教育開発・支援センター課長）

## 良心館ラーニング・commonsでの活動

・2014年度LA研修

対 象：2014年度LA（ラーニング・アシスタント）

※LAとは、LC（ラーニング・commons）において学習支援の専門的知識を背景に、学部学生の授業外学習に関する助言、相談業務を担当するスタッフで、2013年度より運用を開始した。LAの指導を受けることによって学部学生の学習成果の向上を図るとともに、LAが教育経験を積む機会を提供することによって、教員・研究者・専門職業人等としての自立を奨励することを目的としている。

場 所：今出川校地 良心館2階ラーニング・commons

講 師：浜島 幸司 アカデミック・インストラクター（第2回、第7回）  
岡部 晋典 アカデミック・インストラクター（第3回、第4回、第6回）  
鈴木 夕佳 アカデミック・インストラクター（第1回、第5回）

（第1回）日 時：5月15日（木） 10：45～12：15

内 容：聴く：LCの概念、背景、LA業務、傾聴法、リフレーミング

（第2回）日 時：5月16日（金） 10：45～12：15

内 容：訊く：オープンクエスションとクローズドクエスション

（第3回）日 時：5月22日（木） 10：45～12：15



- 内 容：主張する：先輩LAによる「難しい」学習相談経験談ワークショップ  
 (第4回) 日 時：5月29日(木) 10:45~12:15  
 内 容：知る：シラバスの読み解き方ワークショップ  
 (第5回) 日 時：5月30日(金) 10:45~12:15  
 内 容：寄り添う：レポート、スライドへのアドバイスポイント  
 (第6回) 日 時：6月5日(木) 10:45~12:15  
 内 容：関わる：協同学習とは一概念と手法一、LAによるファシリテート  
 (第7回) 日 時：6月6日(金) 10:45~12:15  
 内 容：発揮する：リーダーシップ、LAの能力、資質  
 (第8回) 日 時：6月20日(金) 10:45~12:15  
 テーマ：仲間との学びをグレードアップするスキルを学ぶ  
 講 師：関田 一彦 氏 (日本協同教育学会会長／創価大学教育学部教授)

#### ・コモンズカフェ

場 所：(第4・5・7・8・9・10回)

今出川校地 良心館ラーニング・コモンズ2階 グローバルビレッジ  
 (第6回)

京田辺校地 ローム記念館劇場空間

- (第4回) 日 時：4月23日(水) 14:55~15:55  
 ゲスト：百合野 正博 商学部教授  
 テーマ：大学は知的ワンダーランド
- (第5回) 日 時：5月29日(木) 14:55~15:55  
 ゲスト：浦坂 純子 社会学部教授  
 テーマ：『計画された偶発性』をものにする  
 一流されず、逆らわず、のキャリアデザイン指南一
- (第6回) 日 時：6月25日(水) 15:30~16:25  
 ゲスト：馬場 吉弘 理工学部教授  
 テーマ：グリーンエネルギー風力発電の可能性
- (第7回) 日 時：8月5日(火) 14:55~15:55  
 ゲスト：錢 鷗 グローバル地域文化学部教授  
 テーマ：新聞・TVだけではわからない現在の日中関係
- (第8回) 日 時：10月28日(火) 14:55~15:55

ゲスト：中野 民夫 政策学部教授

テーマ：みんなの楽しい修行

～より納得できる人生と社会のための10のこと～

(第9回) 日 時：12月1日(月) 14:55～15:55

ゲスト：西村 卓 経済学部教授

テーマ：京都の持つ重層性—伝統職人のまち、学生のまち—

(第10回) 日 時：1月29日(木) 15:05～16:05

ゲスト：コーリン デービス 国際教育インスティテュート准教授

テーマ：元留学生からみた日本の14年

### ・アカデミックスキルセミナー

開催期間：春学期…5月14日(水)～8月8日(金)

秋学期…10月15日(水)～1月26日(月)

場 所：今出川校地 良心館ラーニング・コモنز3階

京田辺校地 ラーネット記念図書館

内 容：学術文献の読み方／アイデアの拡張法／伝わる文章の書き方／プレゼンの構成法／グループでのアイデア出し／ソーシャルメディアの学術的利用法／レポートの構成の立て方／ノートの取り方／ポスターの作り方／レジユメの作り方／引用の方法／ラーニング・コモنز活用法／図・表の見方・作り方

講 師：浜島 幸司 アカデミック・インストラクター

岡部 晋典 アカデミック・インストラクター

鈴木 夕佳 アカデミック・インストラクター

## 「学生による授業評価アンケート」の実施

・春学期(中間) 実施期間：WEB利用…5月19日～5月31日

調査票利用…5月26日～5月31日

・春学期(期末) 実施期間：WEB利用…7月14日～7月26日

調査票利用…7月14日～7月19日

・秋学期(中間) 実施期間：WEB利用…11月5日～11月18日

調査票利用…11月12日～11月18日

- 秋学期（期末） 実施期間：WEB利用…1月13日～1月27日  
調査票利用…1月13日～1月22日の内6日間  
(13. 14. 16. 17. 19. 22日)

## 2014年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」の実施

調査対象：学部1年次生及び3年次生

実施期間：秋学期成績通知書配付時（3月25日）

## 大学入学準備講座の開講

- 9月27日：今出川校地 明德館1番教室  
「キリスト教、イスラム教、ユダヤ教の関係—共通点と相違点—」  
(越後屋 朗 神学部教授)  
「現代日本政治の課題」  
(森 裕城 法学部教授)
- 10月4日：今出川校地 明德館1番教室  
「日本企業での働き方—職場ルールの分析から」 (寺井 基博 社会学部准教授)  
「英語コミュニケーション～グローバル社会で必要な技術～」  
(中村 艶子 グローバル・コミュニケーション学部准教授)
- 10月11日：京田辺校地 夢告館101番教室  
「明日のために！～スポーツの目標設定法～」  
(石倉 忠夫 スポーツ健康科学部教授)  
「いのちの不思議」  
(吉川 研一 生命医科学部教授)
- 10月18日：今出川校地 明德館1番教室  
「ことばのチカラ」 (星 英仁 文化情報学部准教授)  
「世界はいま？進むグローバリゼーションとミャンマーのゆくえ」  
(岡本 由美子 政策学部教授)
- 11月8日：京田辺校地 夢告館101番教室  
「大学で学ぶいろいろな『化学』について」 (塚越 一彦 理工学部教授)  
「大学で学ぶ心理学」 (中谷内 一也 心理学部教授)
- 11月15日：今出川校地 明德館1番教室  
「宗教を哲学してみよう」 (宮庄 哲夫 文学部教授)

「<あいだ>を生きる思想—ヨーロッパ・ユダヤ文化への扉」

(小野 文生 グローバル地域文化学部准教授)

- 11月29日：今出川校地 良心館101番教室

「マーケティングについて考える」

(崔 容熏 商学部教授)

「『エコノミー』と『エコロジー』」

(岸 基史 経済学部准教授)

## 発行物

- CLF report (学習支援・教育開発センターレポート)

第21号：10月23日発行

第22号：3月27日発行

- 「キャンパスライフに関するアンケート調査」

2013年度調査結果中間報告書：12月発行

2013年度調査結果報告書：3月発行

- 2014年度「大学入学準備講座」講義録：2月25日発行